



2020年11月9日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 上 田 孝
(コード番号 7022 東証第1部)
問合せ先責任者 総務部長 田 代 昌 利
(TEL 06-4803-6161)

連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

当社は、2020年11月9日開催の取締役会において、当社子会社であるサノヤス造船株式会社（以下、サノヤス造船）について、当社が保有する株式の全部を、株式会社新来島どっく（以下、新来島どっく）へ譲渡することを決議し、新来島どっくと株式譲渡契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件株式譲渡は、2021年1月15日開催予定の当社臨時株主総会において特別決議により株主の皆様へ承認をいただくこと、並びに本件株式譲渡実行日までに公正取引委員会による独占禁止法関連の承認を得られることを条件としております。

1. 株式の譲渡の理由

造船を取巻く事業環境は、リーマンショック以降、日中韓をはじめとする造船所の製造設備と世界的な海運市場における船腹が需要を上回る「二つの過剰」という構造の下に、新造船需要、とりわけサノヤス造船の主力船種であるばら積み船の需要が大きく落ち込んだまま低迷する状況が継続しています。

当社は、予てから斯かる状況の長期化を予測し、作業船やフェリー等の一般商船以外の建造、船用ガスタンク製造、船舶修繕工事の受注に注力するとともに、産業用・建設用機械装置や遊園地施設等の製造・建設・販売を営むM&T (Machinery & Technology) 事業の拡充・強化に努めてまいりました。

しかし、水島製造所の操業確保のため製造原価を下回る船価での新造船受注を甘受せざるを得ず、ここ数年、大幅な赤字決算を余儀なくされたことに加え、当年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響から、新造船の不振を補完すべく期待していたM&T事業の事業環境も不安定な状況となりました。

ここに至り、いまだ回復の兆しが全く見えない事業をこれ以上継続することは当社の財務体力上困難であり、また、将来、新造船市場が回復したとしても、中韓において巨大な造船会社が誕生し、資機材調達に係るコスト競争、環境規制・デジタル化推進といった新造船の技術開発競争が熾烈化する中、当社単独の造船事業規模では生き残っていくことは難しいとの判断から、造船事業の未来を繋ぐために、新来島どっくに譲渡することを決定いたしました。

新来島どっくは、造船業に集中する基本戦略のもと、多数の造船所を傘下に置き、自動車運搬船やケミカルタンカー等多くの船種を手掛け、年商1千億円規模を継続している、資本金と資機材調達力を兼ね備えた造船会社です。そのグループに入ることにより、これまで実現の難しかった多船種建造への挑戦や、開発・設計・製造における同じ瀬戸内海での協働など、新機軸を打ち出すことにより、両社協力して、難局を乗り越えていくことに合意しています。

このようにして、1911年に創業したサノヤスの造船事業は、来年3月1日以降、「株式会社新来島サノヤス造船」として再出発し、歴史が引き継がれます。

一方、当社グループは、造船事業を譲渡後、M&T事業を継続してまいります。新生サノヤスグループの経営戦略につきましては、本日、別途公表しております。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	サノヤス造船株式会社			
(2) 所在地	大阪市北区中之島三丁目3番23号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 上田 孝			
(4) 事業内容	各種船舶の建造及び修理			
(5) 資本金	2,000百万円			
(6) 設立年月日	2011年10月3日			
(7) 大株主及び持株比率	サノヤスホールディングス株式会社 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は、当該会社の全株式を保有しております。		
	人 的 関 係	当該会社の取締役9名、監査役1名及び従業員47名は当社の役職員が兼務出向しております。		
	取 引 関 係	当社は当該会社から役職員の兼務出向料を受け取っております。また、債務保証、業務委託、不動産の賃貸借等の取引があります。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
純資産		9,351百万円	10,006百万円	8,096百万円
総資産		41,564百万円	40,387百万円	35,192百万円
1株当たり純資産		2,337円93銭	2,501円72銭	2,024円04銭
売上高		29,259百万円	28,401百万円	28,863百万円
営業利益		△ 3,479百万円	186百万円	△ 2,935百万円
経常利益		△ 3,480百万円	129百万円	△ 2,256百万円
当期純利益		△ 3,458百万円	617百万円	△ 2,338百万円
1株当たり当期純利益		△864円73銭	154円37銭	△584円70銭
1株当たり配当金		－円	－円	－円

なお、本件株式譲渡により株式会社サノテック（サノヤス造船が100%株式保有）、FL CLOVER MARITIME S.A.（サノヤス造船が100%株式保有）、CENTENARY MARITIME S.A.（サノヤス造船が50%株式保有）及びS&I MARITIME S.A.（サノヤス造船が50%株式保有）の4社も当社連結対象から除外されます。

(参考) 造船事業の最近3年間の経営成績

	決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高		29,271百万円	29,644百万円	29,932百万円
営業利益		△ 3,463百万円	336百万円	△ 2,779百万円

1. 造船事業はサノヤス造船、株式会社サノテック、FL CLOVER MARITIME S.A.、CENTENARY MARITIME S.A. 及びS&I MARITIME S.A. からなる事業セグメントです。
2. 営業利益は配賦不能費用控除前及び事業間取引消去前のものです。
3. 2018年3月期の経営成績には、株式会社サノテックの売上高、営業利益は含まれておりません。

3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 名称	株式会社新来島どっく			
(2) 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目7番12号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 曾我 哲司			
(4) 事業内容	各種船舶の建造、修理及び解体、船舶用機器並びにその他諸機械の製造及び修理			
(5) 資本金	1,737百万円			
(6) 設立年月日	1987年5月28日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社カナックス	14.2%	新来島どっく社員持株会	9.9%
	日本製鉄株式会社	7.3%	三井物産株式会社	7.0%
	三井住友信託銀行株式会社	4.6%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当該事項はありません。		
	人的関係	当該事項はありません。		
	取引関係	当該事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該事項はありません。		

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式数の状況

(1) 異動前の所有株式数	4百万株（議決権の数 4百万個、議決権所有割合 100%）
(2) 譲渡株式数	4百万株
(3) 譲渡価額	1百万円
(4) 異動後の所有株式数	0株（議決権の数 0個、（議決権所有割合 0%）

サノヤス造船が銀行借入40億円を継承することを前提として、デロイト トーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社による株式価値算定結果に基づき譲渡価格を決定しています。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2020年11月9日
(2) 契約締結日	2020年11月9日
(3) 臨時株主総会基準日	2020年12月15日（予定）
(4) 臨時株主総会招集日	2020年12月24日（予定）
(5) 臨時株主総会開催日	2021年1月15日（予定）
(6) 株式譲渡実行日	2021年2月28日（予定）

6. 今後の見通し

当社は本日付にて当期連結業績予想を下記参考のとおり公表しました。本件に関する決算影響は、当該開示に詳述しておりますのでご覧ください。

以上

（参考）当期連結業績予想（2020年11月9日公表分）及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当連結業績予想 (2021年3月期)	45,000百万円	△4,000百万円	△4,100百万円	△6,300百万円
前期連結実績 (2020年3月期)	49,805百万円	△1,775百万円	△1,710百万円	△2,211百万円